



松本市議会議員

吉村幸代

よしむらさちよ

発行 吉村幸代後援会

〒399-0025 長野県松本市寿台9丁目4-1
Tel & Fax 0263 (58) 0201
E-mail sachiy_kun@ybb.ne.jp
URL http://yoshimurajimusyo.web.fc2.com

の活動レポート

第8号(平成28年度総集号)



2017年5月発行

議員2年目は

「学都松本」の教育民生委員会 副委員長として活動しました

議員2年目は、教育民生委員会の副委員長を仰せつかりました。

松本市議会には、総務・教育民生・経済地域・建設環境という4つの常任委員会があり、全議員がいずれかに所属して活動しています。教育民生委員会は、学校教育・社会教育、福祉、子育て、松本城関係など、市民生活に密着した幅広い分野を扱います。公民館長だった私の経歴から期待された人事ではないかと思っております。

さて、平成28年度6月定例会議中に、国保税の改正に関する議案が提出され、管轄の教育民生委員会審議の場になりました。国民健康保険財政は、被保険者の減少や高齢化を主な原因として医療費が伸び続ける一方で、保険料収入は減少し、非常に厳しい状況に陥っています。



▲平成28年10月 第28回国宝松本城「古式砲術演武」松本市議会を代表して、ご挨拶を申し上げます。

委員会では、長時間にわたる議論の末、平成28年度から平均改定率で13.5%の改定を行うとともに、一般会計から6億8,000万円の特別繰入を行うことが決まりました。

国民健康保険の加入者には低所得の方が多く、負担増は心配です。私自身も加入者であり抵抗感がありますが、この大切な制度は何としても維持し存続していかねばなりません。熟慮の末「やむを得ない」の判断に至りました。制度の維持・存続のためには、医療の質を落とすことなく、医療費の無駄遣いを減らす取組みを強化していかねばなりません。議員2年目は「医療費の適正化」と格闘する1年間となったのでした。

9月定例会 平成28年9月12日(月)10:00 初日にトップバッターで登壇!

1. 公民館発足70周年にあたって

- (1) 地区公民館の現代的ニーズについて
 - ア Wi-Fi環境の整備
 - イ 防災備品の配備
 - ウ 女性の登用
- (2) 地区公民館の本質的役割について
 - ア 平和学習(伝承者育成)
 - イ 政治学習(主権者教育)
- (3) 町内公民館の活用と充実について

2. 地域包括ケアの推進に向けて

- (1) 成年後見制度利用の支援について
- (2) 高齢者の運転免許証返納について
- (3) 地域包括ケアシステムの実効性の担保に向けて

3. 松本市東南部の文化財の活用について

- (1) 牛伏寺とフランス式階段工周辺に関する市の見解
- (2) 今後に向けて

発言が施策に反映されました!

- ☆ Wi-Fi整備の必要性に関する調査が実施されました。平成28年度に、中央公民館(Mウィング)のWi-Fi整備が行われました。
- ☆ 平成29年度、県下初の「平和推進課」が新設されました。
- ☆ 平成29年度、認知症初期集中支援チームが設置され、早期の認知症に対応することとなりました。
- ☆ 平成29年度、成年後見制度など法的な困難事例に対応するため、地域包括支援センターに弁護士4名が配置されました。

平成28年度の質問項目 in 定例議会

2月定例会 平成29年3月8日(水)13:00 最終日の午後1番で登壇!

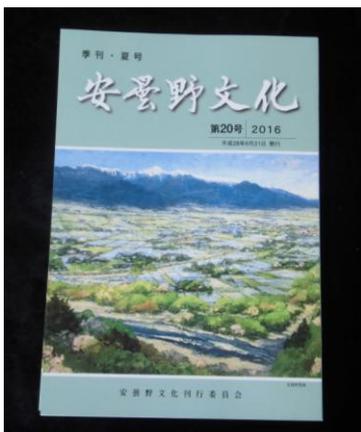
1. 農業政策

- (1) 農畜産物のマーケティングについて
 - ア 地産地消の推進
 - イ 究極の6次産業「地酒」をめぐる取り組み
- (2) 農業振興について
 - ア 農業委員会法改正を受けて
 - イ 総合的な農業相談窓口

2. 公共施設マネジメント

- (1) まつもと市民芸術館の大規模改修について
- (2) 今後に向けて

- ☆ 年度末の定例議会のため、質問や提言・要望が事業計画や予算にどう反映されるかは、これからです。
- ☆ 市役所庁舎、市立博物館、市立病院と、大物の建設計画が進められています。吉村幸代がまつもと市民芸術館に注目するのは、こうした公共施設のあり方を考える上で、象徴的な存在だからです。



『安曇野文化』第20号にも登場!

同誌は、長い歴史をもつ『三郷文化』を母体とし、安曇野市の身近な文化に焦点を当てた季刊誌です。

平成28年夏号「故郷へのメッセージ」コーナーに、吉村コラム「生みの親、育ての親」が掲載されました。安曇野市出身の松本市議会議員として、出馬の経緯や思いを綴り、「故郷よ、美しく発展を」と結んでいます。

海賊とよばれた男

年の初め、久々に映画館へ行った。何年ぶりだろう。夫と一人で観た映画は「海賊とよばれた男」。出光興産の創業者・出光佐三氏の生涯を描いた邦画である。

私の父・宮坂高運（みやさか たかつら）は、出光興産の販売店である信光石油株式会社の専務を長く務めた。同社の初代社長は、齋武清（もたい・たけきよ）。父には義兄、私にとっては母方の伯父にあたる。一人二脚の主力疾患で、信光石油の礎が築き上げられた。

武清伯父は、若い頃から起業精神旺盛な人で、「車社会が到来する」として予測のものを誘い、松本市本町（現在の深志）に市内初のガソリンスタンドを開いた。自動車などまだ珍しい頃の「じい」ガソリンなんて誰が使つかと笑われたらしい。

それまで二郷村役場の職員だった父は、安定した公務員生活と大博打のような起業との岐路に立

ち、大いに迷ったようだ。「義兄に賭けよう、仕事に賭けよう」と深い迷いを吹っ切つて覚悟を決めた」と、晩年に上梓した著書『穂高運峰』に記している。それは、そつたろう。家庭には生後間もない私があり、田地畑家屋敷の全財産を抵当に入れての話だ。

伯父の読みは大当たり。高度経済成長の追い風が吹いて、信光石油は県下最大級の販売網へと成長した。そして私は、自分と同じ年生まれの子会社・信光石油の恩恵を受けて生活し、教育を受けて、現在がある。

さて、映画は、明治から昭和にかけて、数々の困難を乗り越えて石油事業に尽力した男の生き様を、戦後の復興、世界の市場を牛耳る石油会社との戦いを軸に描き出していた。日本人の誇りを胸に、周囲の仲間たちとの絆を重んじながら、独自の経営哲学と行動力をもって突き進む主人公の姿。激しい逆風の中で、不屈の闘志を燃やす強い男の生き様に、私はいつい父や伯父の人生を重ねた。

「石油は、国の血液だ」。映画の中で、主人公が何度も叫んでいた。

残念ながら、その時代は今や転換期を迎えようとしている。

しかし、海賊とよばれた男の生き様は、いつの世にあつても変わらぬ最も大切なものとは何であるかを教えているようだった。

「映画とは、答えを明示するものではない。考えさせるものだ。答えは、観る者によって違う」とは、誰の言葉だったか。久しぶりに入った映画館で、私はそんなことを思い浮かべていた。

平成も29年、早いものである。父が鬼籍に入つて丸7年、伯父に至つては45年も経つ。松本市議会議員になつた私を、二人は空の上から何と思つて見ているのだろう。訊ねてみたいことが、今こそたくさんある。市政、人脈、経済、農業、文化芸術、人生のじい……。

この映画の撮影でメガホンをとつたのは、松本市出身の山崎貴氏「ALWAYS 三丁目の夕日」で数々の映画賞を総なめにした名監督である。企画に際しては信光石油本社を自ら訪れて調査し、映画化を決意されたと聞く。なるほど、そういえば、映画の末尾に「Special Thanks 信光石油」とあつた。

「先人樹を植え、後人涼を楽しむ」を銘とした前市長が亡くなった。市民芸術館の建設是非を問う市長選で敗れ、政治的終焉を迎えた。あれから13年、かの建物の初の大規模改修費用20億円と発表された。迎えた2月議会、それに関して質問した議員は吉村ただ一人。財団に業務委託された会計は見えずらく、数値化できない文化芸術の評価は難しい。質問は「しない」ではなく「できない」か。▼子を持つ身となり、生活に対する現実さが今までとは違つてきた私。超少子高齢化・人口減少社会を生き延びていく中で、歴史に残る銘木の維持も時として負担になり得る。せつかくだから大切に守り育てたい。何を優先し、どれだけの財をひぎ込むべきか……首長と議会の腕の見せどころだ。▼2年前「よの良い社会を次世代へ」と語つた吉村議員、任期はいよいよ復路へ。「先人樹々を拓き、後人道を歩む」。持続可能な財政へと続く道の開拓に全力を、石の上にも3年目の仕事に期待したい。（結城そら）



▲4/25(月) 内田地区歓送迎会



▲4/27(水)上高地開山祭
5/3(火)松本子どもまつり▶



▲6/8(水)西南ロータリークラブ
「地域づくり」について講演



▲7/27(木)～29(金)教育民生委員
会行政視察 in 明石・岡山・
呉・広島市 戦後70年の夏
の朝、バックに原爆ドーム



▲7/30(土)棚峯町会納涼祭
8/7(日)寿台夏祭り▶



▲8/30(火)～9/1(木)会派
「みんなの未来」行政視察
in 苫小牧・札幌市

吉村写真館 2016春～2017冬



◀10/1(土)祝・発売!
清酒「寿一番星」



▲11/2(水)議会報告会 in 波田公民館



▲11/14(月)・15(火)姫路市



▲12/1(木)松本城年末清掃



▲1/5(木)消防出初式



▲1/20(金)造園人新年会



▲1/23(月)長野県防災会議
原子力災害対策部会



▲1/25(水)～27(金)会派「みんな
の未来」行政視察 in 神戸・淡
路・南あわじ・鳴門市ほか



▲2/4(土)吉村後援会総会